



2019年12月13日
第68号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



「事務業務の再構築について」提案を 「駅業務執行体制の再構築について」受ける

横浜地本は12月11日、業務体制の再構築に関する提案を受けました。概要および提案時の議論はそれぞれ以下の通りです。

「事務業務の再構築について」

実施内容 横浜総合事務センターで行っている業務を(株)JR東日本パーソナルサービスへ委託する。

実施日 2020年3月1日

～～提案時の主な議論～～

- 目的 事務業務の平準化および技術技能とノウハウの構築・継承を行う。
- 形態 現行の3チーム体制は委託後も変わらないイメージ。電話やFAX番号も変わらない。
- 業務量 委託後も業務量は変わらないが、配置要員数は示せない。勤務時間も変更なし。大きな労働条件の変更はない。対象社員は丁寧に不安を解消していく。



「駅業務執行体制の再構築について」

実施内容 鎌倉駅に駅遠隔操作システムを導入し、営業体制の見直しをはかる。
 ・制御駅 : 鎌倉駅(東口)
 ・被制御駅 : 鎌倉駅(西口)

実施日 2020年4月1日

～～提案時の主な議論～～

- 目的 お客さまのご利用の少ない時間帯にあわせて効率的な業務体制を構築する。
- 形態 早朝時間帯の鎌倉駅西口改札に遠隔操作システムを導入し効率化する。
- 業務量 これによる要員体制は営業職▲1となる。



施策に対する問題点を職場の組合員とともに議論しよう!